

# 横浜カーフリーデー2017

& モビリティウィーク

## 企 画 書



この写真は 70 人が移動する交通手段別に必要とされる駐車・駐輪面積です

©松本市ノーマイカーデー推進市民会議、松本市、一般社団法人カーフリーデージャパン  
撮影は、一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けています

NPO法人 横浜カーフリーデー実行委員会

## ◆カーフリーデーの趣旨

「カーフリーデー（「まちなかでは車から解放されましょう」という意味合い）」は、毎年9月22日に世界の約2,000都市で行われている交通と環境のイベントです。

イベント当日は、まちの中で「マイカーを使わないエリア」が設けられます。

「交通を切り口とした、まちの環境改善・にぎわいの創出」を目的に、市民一人ひとりが車のない「まち」を体験し、

- マイカーがなくても「まち」での活動に影響がないこと
- いつもと違う交通行動をとること
- 地球環境やまちの文化・生活の質について考えることなど、『考える』きっかけにしよう

という意図により実施されています。

※社会啓発をするという点で歩行者天国とは目的・内容がまったく異なります。

## ◆カーフリーデーの目的

### ●4つの目的を掲げています

#### 1、大気汚染の問題を認識する

クルマ社会は、気候変動や健康を害する汚染物質の排出源であり、個人所有のクルマ利用を少しでも減少させる。

#### 2、人や自転車の空間を優先する

限られた都市空間を人と自転車を優先にする視点から都市交通を考えなおす。

#### 3、公共交通の推進・強化

都市部の環境汚染やエネルギー問題、交通渋滞等などの問題から、公共交通を強化する

#### 4、地域の資産を認識する

クルマを利用しては見落としてしまうが、徒歩や自転車を利用することにより見えてくる『街の再発見』の機会とする。

## ◆ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーとの関係

カーフリーデーは、1997年に行われたフランス、ラ・ロッシュェルの「車のない日」が発端です。1998年からは、フランスの国土整備・環境省(現在はエコロジー・サステイナブル DEVELOPPEMENT 省)の呼びかけで、フランスの催しとして“En Ville, sans ma voiture ”(街ではマイカーを使わない)という名称で行ってきました。

2000年からは、欧州委員会(環境総局)のプロジェクトとなり、カーフリーデーという名称が一般的に使われるようになりました。このカーフリーデーをさらに発展させ、1週間の都市と交通に関わる催しとなったのが、2002年から始まったモビリティウィークです。9月16日～22日の間に、環境や交通に関わるテーマについてキャンペーンを行うこととしています。

NPO法人横浜カーフリーデー実行委員会は趣旨に賛同し、2004年から、横浜市にて、カーフリーデー・イベントを実施しています。9月23日(秋分の日)は国民の祝日であることから、カーフリーデー・イベントを9月22日又は23日に実施することにしています。

9月16日～22日(又は23日)のモビリティウィーク期間は、ポスター掲示などをして、カーフリーデーの啓発活動に努めています。

# I. 9月23日開催 横浜カーフリーデーについて

## <実施概要>

- 名称: 横浜カーフリーデー2017 & モビリティウィーク
- 開催日時: 9月23日<土・祝> 11:00~16:00 (大雨中止)
- 会場: 日本大通り・横浜公園
- 主催: NPO法人横浜カーフリーデー実行委員会



後援/協力(予定): 横浜市、神奈川県、国土交通省関東運輸局、環境省関東地方環境事務所、横浜市水道局・資源循環局・交通局・文化観光局・道路局・都市整備局・横浜温暖化対策統括本部、加賀町警察署、横浜市中区役所、横浜商工会議所、(社)横浜青年会議所、神奈川交運労協、相模鉄道(株)、(一社)神奈川県バス協会、(一社)神奈川県タクシー協会、全国保険協会神奈川支部、(株)神奈川新聞社、イセザキモール 1・2st、(株)ダイイチ(株)大川印刷、ピンクリボン神奈川、城南信用金庫、横浜ビール(株)、よこはまコスモワールド、横浜デザイン学院

(順不同)

- 出店(出展)数:30~40 ステージ出演者:10 団体以上 パレード参加:団体10以上 & 来場者
- 来場者:2015年 約2万人
- 2017年※世界共通のテーマ :Sharing gets you further (シェアして、もっと先へ)  
[共同利用による新しい可能性]

## 1、会場

### 【メイン会場/日本大通り会場】

- 参加団体による展示・省エネグッズ・ソーラークッカー・自転車
- コミュニティサイクル
- マンモグラフィ検診車(乳がん早期発見)展示・見学
- 自転車走行シミュレーション
- ミニ収集車・ミニ白バイ・ミニバスなど
- 歩行者パレード ■ 道路を使って皆で遊ぶ試み

### 【横浜公園会場】

- 参加団体による展示:自転車・省エネグッズ
- 参加団体による物品販売:無添加食品など
- 参加団体ブース・エコ自動車展示
- ピンクリボン啓発活動(乳がん早期発見・早期治療)
- 太陽光発電パネル展示(各社)
- 相互乗り入れで繋がった埼玉県のPR
- ミュージックステージ ■ フリーマーケット

※会場内ではスタンプラリーが行われます。チラシが小学校で配布されるため、小学生の来場が多く、小学生はスタンプを集めながら 各会場を見て回ります。





## 2、広報について

### ① ポスター掲示

枚数:2,000枚

期間:9月初旬から1週間程度

場所:横浜市営地下鉄車内・バス車内



### ② チラシ配布

印刷枚数:5万枚

配布先:中区・南区・西区・神奈川区・保土ヶ谷区・磯子区・鶴見区小学校、中区・西区地区センター等

### ③ メディア掲載:新聞、タウンニュース、WEB 情報誌など

### ④ ホームページ :<http://www.ycfd.jp/>横浜カーフリーデー 検索

## Ⅱ モビリティウィーク(9月16日~23日)

### ■ ポスターの掲示 市営地下鉄 関内駅・伊勢佐木長者町駅構内



NPO法人横浜カーフリーデー実行委員会:連絡先 ☎ 070-5457-0074 FAX 045-316-2368  
メールアドレス:k0713@ycfd.jp